



2015/7/26

リメイク前の、ジャン・ルイ・フラデのドッグ刺繍入り長袖シャツです。

サイズはメンズでLです。

着古したので、リメイクすることにしました。

刺繍が大変可愛いです。

捨てるのはもったいない逸品です。

ショルダーバッグに作り変えます。

刺繍を活かした、お洒落なバッグになればいいと思います。

毎度のことですが、お気に入りの品にハサミを入れるのは、勇気が必要です。

生まれ変わる形を想像して、ハサミを入れます。

---



2015/7/28

前身ごろの刺繍部分を利用して、バッグの表袋を作りました。

片側は、ポケット付きになりました。

そして、後ろ身ごろで内袋を作りました。

返し口(生地を表に戻す時のために残す「開き」)は、片脇に作っています。

シャツは大きいので、沢山の生地があります。

ですので、ポケットを作りました。

内袋にポケットがあると大変便利です。

---





2015/8/1

腕の生地を使って、バッグのショルダーベルトを作りました。

ショルダーベルトは袖の生地を多く使いました。

生地を筒状にして縫い、潰したあと、両脇をステッチしました。

後ろのヨークには刺繍が付いていました。

もちろん、利用しました。

肩に掛けた時、この可愛い刺繍がよく見えるように、バッグに付けます。

ショルダーバッグは小さめですので、負担も小さいです。

ですので、ベルトには接着芯は入れませんでした。

---



2015/8/4

バッグには蓋を付けることにしました。

バッグが閉じられると、安心出来ます。

シャツの余った生地を利用して、フラップを作りました。

ボタンもシャツの付属品を使います。

ですので、ボタンホールは、このボタンのサイズに合わせました。

ボタンは最後に縫い付けます。

表袋と内袋を中表にし、ショルダーベルトとフラップを挟んで縫い合わせました。

返し口から袋を表に返しました。

そして、内袋のポケットにホックを縫い付けました。

---





2015/8/9

袋の口を補強ステッチしました。

補強のためにショルダ一部分は四角縫いをし、より強度を高めました。

次に、フラップに使うボタンを縫い付けました。

このボタンはシャツに付いていたものです。

ポケット付いている側が、後ろになります。

---



2015/8/11

最後に、返し口を手で縫い、穴を塞ぎました。

表袋の後ろと内袋にポケットがありますので、色々活用出来ます。

ちょっとした買い物に便利に使えるお洒落なバッグになりました。

可愛い刺繍を十分に活かしました。

メンズシャツ1枚で、ショルダーバッグが1個完成しました。

---